



台風や集中豪雨、地震などにより、土砂災害が発生します。土砂災害から身を守るために、どんな場所が危険であるかを知り、災害に備えましょう。



## 筑西市で起こりうる土砂災害

茨城県は、土砂災害の発生するおそれのある危険区域を、土砂災害防止法に基づいて土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域に指定しています。筑西市では、「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」の危険性があり、土砂災害警戒区域等に27箇所が指定されています。

### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)とは

雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。突然崩れ落ちるため、逃げ遅れる人が多く、大きな被害をもたらします。



- 前兆現象**
- 斜面に割れ目ができる
  - 小石がパラパラと落ちてくる
  - 斜面から水が湧き出す

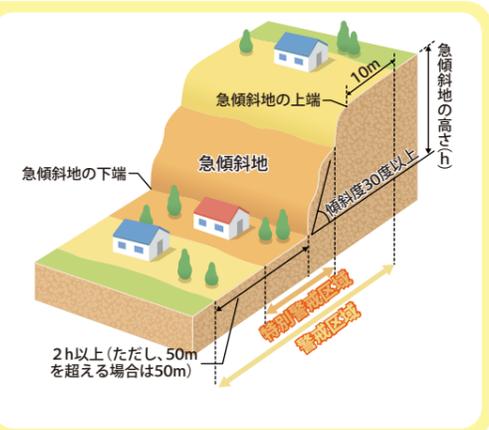
### 土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域。土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

- 身の周りの危険箇所の確認
- いざというときの避難先や避難経路の確認など、家庭や地域での防災対策を進めましょう。



## 避難時の注意事項

非常に強い雨が広範囲におよぶと、警報連絡や避難支援が困難になる場合があります。気象情報や、防災情報に注意し、危険や不安を感じたときは、お互いが声をかけあい、隣近所で助け合って早めに避難を開始してください。

**その1**  
危険と判断したら早めに自主避難しましょう

土砂災害警戒情報が発表された場合は、危険度が高まっています。気象情報や防災情報に注意し、早めに避難しましょう。

**その2**  
早く遠くに避難しましょう

斜面は一瞬にして崩れ落ちるため、前兆現象を見かけたら早めに避難しましょう。避難するときは、斜面からなるべく遠くに避難しましょう。

**その3**  
避難行動に時間を要する方を助けましょう

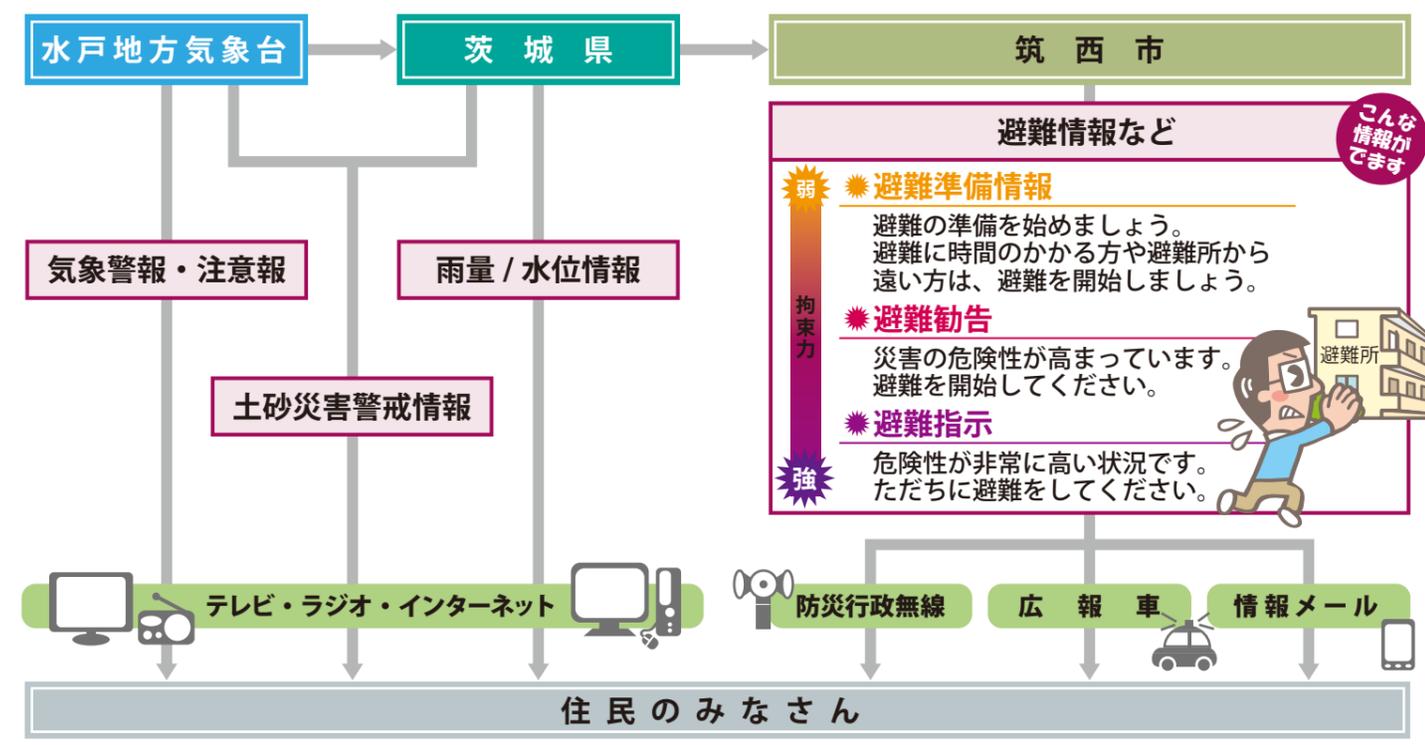
自力で避難することが困難な方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子どもなどの避難に協力しましょう。

**その4**  
逃げ遅れたら生命を守ることを第一に行動しましょう

避難が遅れ危険が迫った場合や大雨などで外に逃げるのが危険な場合は、堅牢な建物の高い階(斜面の反対)などに急いで避難しましょう。

より多くの人に危険を知らせるため、河川の増水や土砂災害の前兆現象に気づいたら、筑西土木事務所や市役所に連絡しましょう。

## 災害時における情報の流れ



## 雨の降り方と災害発生状況

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上になっていたら注意が必要です。積極的に雨量情報、予報、警報などの情報を入手しましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
ザーザー降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
1時間に10~20mm	1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80mm~
この程度の雨でも長く続くときは注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難準備が必要	マンホールから水が噴出する	雨による大規模な災害が発生するおそれがあり、厳重な警戒が必要

資料：気象庁「雨の強さと降り方」(H14.1一部改正)

## 日ごろの備え

**避難経路を確認していますか?**

どこへどの道を通って避難するのかを家族や隣近所で話し合っておきましょう。

**非常持出品を用意していますか?**

必要最小限のものをリュックサックなどに準備しておきましょう。

**近所で協力する体制ができていますか?**

日ごろから隣近所をつながりを深め、いざというときに助け合えるようにしましょう。

**雨戸や塀を設置して土砂災害に備えていますか?**

土砂の流れてくる方向に出入口や窓がある場合は、雨戸や塀を設置しましょう。

**情報メール・斉配信サービスに登録していますか?**

下記へアクセスし登録することで、筑西市からさまざまな情報が配信されます。登録はこちら

前兆現象を察知して早めに避難しましょう！ 最新の気象情報や避難情報入手し、危険を感じる時は自主的に避難をしましょう。